

管内経済情勢報告

平成15年10月、財務部では管内経済情勢報告を次のとおり取りまとめました。

その2

財務部



概況

最近の管内経済情勢をみると、個人消費は、底堅く推移している。公共事業、住宅建設は前年を上回っている。また、十五年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

観光は高水準で推移している

9

ら前年を上回っている。

ているものの、非

製造業で「増益」とみ

3

15/5

は、八月までの累計が同期間の過去最高を記録するなど高水準で推移している。主要ホテルの客室稼働率、客室単価、客単価はともに前年を上回っている。

観光関連施設の入場者数は、高水準である入込み客や、美ら海水族館の効果か

益」とみてることから、全産業では「増益」見込みとなっている。十五年度下期は、製造業で「減益」とみているほか、非製造業で「減益」とみていることから、全産業では「減益」見通しとなっている。十五年度通期は、製造業で「減益」とみ

下回っていることから前年を下回っている。出荷額では、県内向け、県外向けともに前年を上回っている。

こうした中、企業活動をみると、生産は一部に動きがみられるものの、全体として低調な動きとなっている。十五年度通期の企業収益は、増益見通しとなつてゐる。企業の景況感は、現状は「上昇」超に転じ、先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなつてゐる。

況にあるものの、改善の動きがみられる。

さは残るもの、観光は高水準で推移しており、全体として持ち直しの動きが続いている。

個人消費をみると、百貨店は引き続き大型スーパー出店の影響などから前年を

下回つて いるものの、主要スーパーは新規出店効果の持続などもあつて、主力の飲食料品が堅調なことから前半を上回つた。

年を上回っており、底堅い動きとなつて

耐久消費財では、家電販売は猛暑効果からエアコンが好調なものの、パソコン

を中心とした主力のOA機器等が低調なことから、前年を下回っている。自動車

販売は、新車販売は軽自動車が好調に推移していることから前年を上回つてい
る。中古車販売は前年を下回つてい

このように、個人消費は、底堅く推移している。

観光についてみると、観光入込客数

表-1 個人消費…底堅く推移している

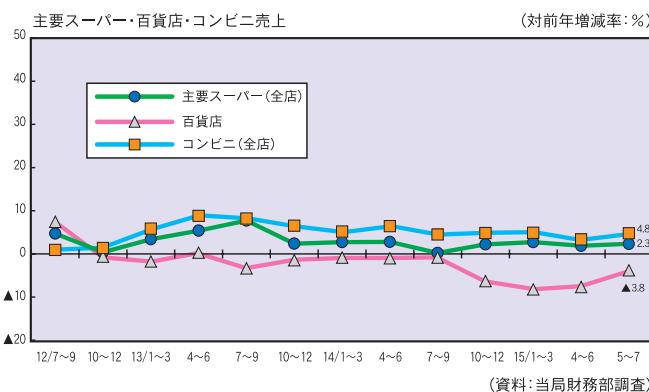


表-2 觀光…高水準で推移している

